

AIR MASSAGE MACHINE

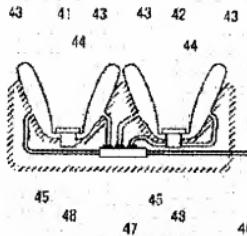
Patent number: JP2003052775
Publication date: 2003-02-25
Inventor: ITO ITSUMI; WADA MASAKI
Applicant: FUJI IRYOKI KK
Classification:
- International: A61H7/00; A61H23/02
- European:
Application number: JP20010249598 20010820
Priority number(s): JP20010249598 20010820

Report a data error here

Abstract of JP2003052775

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an air massage machine, with which press massaging can be performed as efficiently as possible over the wide range of the legs such as to the shank or to the instep, toe of the end of the leg in each of leg insert recessed part of a footrest formed in a W shape.

SOLUTION: In an air massage machine, with which a footrest 4 formed in the W shape, provided with a left and right leg insert recessed parts 41 and 42 and arranged with airbags 43 and 43 to be expandable/retractable by an air supplying/exhausting device on both the respective wall surfaces of the respective leg insert recessed parts 41 and 42 can appear/disappear in front of a seat part 2, operating covers 44 and 44 are provided, and the both ends of each of recessed parts 41 and 42 to the rear side are respectively piled on the leg insert recessed parts 41 and 42 of the footrest 4, and the footrest 4 attached with both the ends of each of overlaying covers 44 and 44 is appropriately formed with tunnel-shaped pocket parts 45 and 45 or bag-shaped pocket parts 45 and 45 attached with the top ends and both the terminals of the respective overlaying covers 44 and 44. Besides, a vibrating member 48 is internally provided on each of the bottoms between both the airbags 43 and 43 of the respective leg insert recessed parts 41 and 42.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-52775

(P2003-52775A)

(43)公開日 平成15年2月25日 (2003.2.25)

(51)IntCL'
A 61 H 7/00
23/02

識別記号
3 2 2
3 4 4

F I
A 61 H 7/00
23/02

マーク (参考)
3 2 2 E 4 C 0 7 4
3 4 4 4 C 1 0 0

審査請求 未請求 求査項の数 3 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2001-249596(P2001-249596)

(22)出願日 平成13年8月20日 (2001.8.20)

(71)出願人 000136491
株式会社フジ医療器
大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号

(72)発明者 伊藤 いみ
大阪府大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号
株式会社フジ医療器内

(72)発明者 和田 正記
大阪府大阪市北区鶴野町4番A-424号
株式会社プロテックフジ内

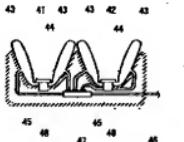
Fターム (参考) 40174 AD03 CC01 DD04 GG08
4C100 AD02 BB05 CA09 DA10 EA09

(54)【発明の名称】 エアーマッサージ機

(57)【要約】

【課題】 W字状に形成された足載台の各脚部挿入凹部での脛腔や脚部端の甲部や爪先部に対する脚部の広範囲に亘る圧迫マッサージを可及的に効率よく行わせるようにしたエアーマッサージ機を提供する。

【解決手段】 W字状形形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を41・42備え、各脚部挿入用凹部41・42の各両壁面にエアーゲルブリゲーティング装置の給排気により膨縮する空気袋43・43を配備させた足載台4が座部2前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台4の各脚部挿入凹部41・42に各凹部41・42内前方から後方間に亘る被覆カバー44を各々重設するとと共に各被覆カバー44・44の両端を達した足載台4にトンネル状のポケット部45・45や、各被覆カバー44・44の先端及び両端を達した袋状のポケット部45・45を適宜に形成して構成する。また、要すれば、各脚部挿入用凹部41・42の両空気袋43・43間底面に振動部材48を各々内設する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入用凹部両面にエアーガラブ排気装置のガラブ排気により脚部に空気袋を配備された足載台を座部前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を連着して足載台にトンネル状ポケット部を形成した事を特徴とするエアーマッサージ機。

【請求項2】 W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入用凹部両面にエアーガラブ排気装置のガラブ排気により脚部に空気袋を配備された足載台を座部前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの先端及び両端を連着して足載台にポケット部を形成した事を特徴とするエアーマッサージ機。

【請求項3】 前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋間底面に振動部材を内設した事を特徴とする請求項1及び2記載のエアーマッサージ機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、エアーガラブ排気装置からのガラブ排気で空気袋を膨張と収縮を行なわせて脚部に圧迫マッサージを行なわせるエアーマッサージ機に係り、詳しくは、W字状に形成された足載台に配備された脚部可動空気袋による圧迫マッサージを可及的に効率よく行なわせるようにしたエアーマッサージ機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 この種従来のエアーマッサージ機は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備えた足載台の各凹部両面に、エアーガラブ排気装置のガラブ排気により脚部に空気袋を配備させて構成されており、施療者の脚部を足載台の各凹部内に臨ませるよう載置してエアーガラブ排気装置を稼動させる事で、各凹部両面の空気袋の脚部により脚部に圧迫マッサージを行なわせるようにしたものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、この種従来のエアーマッサージ機で脚部の圧迫マッサージを行なう場合において、W字状形成された左右の脚部挿入凹部内で、脚部に圧迫マッサージを行なわせる事ができるのであるが、各凹部の上面が解放されている為に、空気袋の脚部動作に連動して脚部が上面開放側に逃避して充分な圧迫マッサージを行なう事ができないという問題が生じていた。

【0004】 また、上記従来のエアーマッサージでは、前述したように各凹部の上面が解放されている為、施療者が脚部端の甲部や爪先部を固定させる事が困難であ

り、この部位の圧迫マッサージは行なえないという問題もあった。

【0005】 本発明は、上記の問題点に鑑みてなされたものであり、W字状に形成された足載台の各脚部挿入凹部での脚部と脚部端の甲部や爪先部に対する脚部の広範囲に亘る圧迫マッサージを可及的に効率よく行わせるようにしたエアーマッサージ機を提供することを目的とする。

【0006】

10 【課題を解決するための手段】 本発明のエアーマッサージ機は、上記目的を達成すべく以下のように構成するものである。

【0007】 すなわち、請求項1記載の本発明は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入用凹部両面にエアーガラブ排気装置のガラブ排気により脚部に空気袋を配備させた足載台を座部前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を連着して足載台にポケット部を形成した事を特徴とする。

20 【課題を解決するための手段】 本発明のエアーマッサージ機は、上記目的を達成すべく以下のように構成するものである。

【0008】 また、請求項2記載の本発明は、W字状形成されて左右に一对の脚部挿入凹部を備え、各脚部挿入用凹部両面にエアーガラブ排気装置のガラブ排気により脚部に空気袋を配備させた足載台を座部前方で出没し得るようにしたエアーマッサージ機において、前記足載台の各脚部挿入凹部に各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を連着して足載台にポケット部を形成した事を特徴とする。

30 【課題を解決するための手段】 本発明のエアーマッサージ機は、上記目的を達成すべく以下のように構成するものである。

【0009】 更に請求項3記載の本発明は、前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋間底面に振動部材を内設した事を特徴とするものである。

【0010】

【作用】 本発明のエアーマッサージ機は、以上のように構成することで、次のような作用をもたらす。

【0011】 すなわち本発明は、椅子の座部前方に出没自在に設けられる足載台の各脚部挿入凹部に、各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被覆カバーの両端を連着して足載台にトンネル状ポケット部を形成している為、各脚部挿入凹部に脚部の脚部を設置してエアーガラブ排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージが行なえ、またそのトンネル状ポケット部に各脚部を挿入してエアーガラブ排気装置を稼動させた場合には、空気袋の脚部動作に連動して上面開放側に脚部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら脚部位に充分な圧迫マッサージを行なう事ができる。

【0012】 また本発明は、椅子の座部前方に出没自在に設けられる足載台の各脚部挿入凹部に、各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重設すると共に各被

覆カバーの先端及び両端を達して足載台にポケット部を形成している為、各脚部挿入凹部に脚部の脛脛部を載置してエアー給排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージが行なえ、また各脚部挿入凹部のポケット部に各々脚部端の甲部や爪先部を挿入してエアー給排気装置を稼動させた場合には空気袋の膨縮動作に連動して上面開放側に脚部の爪先部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージを行なう事ができる。

【0013】更にまた本発明は、前記足載台の各脚部挿入凹部の両空気袋底面に振動部材を内蔵している為、各脚部挿入凹部に脚部の脛脛部を載置してエアー給排気装置を稼動させた場合には通常の圧迫マッサージや振動マッサージ及び振動圧迫マッサージが行なえ、また各脚部挿入凹部の第1請求項のトンネル状ポケット部や第2に請求項のポケット部に、各々脚部や脚部端の甲部や爪先部を挿入してエアー給排気装置を稼動させた場合には空気袋の膨縮動作に連動して上面開放側に脚部の爪先部が逃避する事なく被覆カバーで強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージや振動マッサージ及び振動圧迫マッサージを行なう事ができる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係るエアーマッサージ機を図面に示す実施例に基づきこれを詳細に説明する。

【0015】図1乃至図3は本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図であり、図4は本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す断面図、図5乃至図9は本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の各実施例を示す側面図、図10乃至図13は本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【0016】図1乃至図3の実施例で示した本発明のエアーマッサージ機は、座部2と背壳部3を有する椅子1に、W字形状形成され左右に一対の脚部挿入凹部を4・1・4・2備え、各脚部挿入凹部4・1・4・2の各両壁面にエアー給排気装置の給排気により影響する空気袋4・3・4・3を配備させた足載台4が座部2前方で出没し得るようにしたるものであり、該エアーマッサージ機の前記足載台4の各脚部挿入凹部4・1・4・2に各凹部4・1・4・2内前方から後方間に亘る被覆カバー4・4・4を各々重複すると共に各被覆カバー4・4・4の両端を達した足載台4にトンネル状のポケット部4・5・4・5や、各被覆カバー4・4・4の先端及び両端を達した袋状のポケット部4・5・4・5を形成したものを例示している。

【0017】すなわち、前記足載台4は、例えば図4に示すようにその左右に脚部挿入凹部を4・1・4・2が各々配備されており、各脚部挿入凹部4・1・4・2の各両壁面にはコンプレッサー等のエアー給排気装置(図示せず)からの給排気により膨縮する空気袋4・3・4・3が夫

々配備され、施療部位に圧迫マッサージを行なわせる事ができるようにしている。

【0018】また、前記エアー給排気装置と各空気袋4・3・・間には、エアーホース4・6が介設されており、各空気袋4・3・・に給排気を分配給する分配器4・7で各空気袋4・3・・への給排気を均等に行なわせるようにしている。

【0019】更に、前記足載台の各脚部挿入凹部4・1・4・2の両空気袋4・3・4・3間底面には、図4に示したような電磁式成いは偏心錘の回転により振動を付与する振動部材4・8・4・8が内蔵されており、該振動部材4・8・4・8により施療者の脚部等の施療部位に振動マッサージを行なわせる事ができるようにしており、前記各空気袋4・3・・を同時に稼動させる事で、脚部等の施療部位に振動圧迫マッサージを行なわせる事ができるようにしているのである。

【0020】前記座部2前方で出没する足載台4のリンク機構は、図示していないが複数のリンクで構成されるものであり、最も簡易なリンク機構としては、一般にU字状リンクと棒状リンクとで足載台4を出没できるようにしており、またリンク機構に代えてこれを電動式アクチュエータにより座部2前方で足載台4が出没するようにも良い。

【0021】以上のように構成される本発明のエアーマッサージ機を使用するにあつては、図5に示すように、施療者が椅子1に着座して、図2及び図10に示すように足載台4を座部2前方に突出させ、図6及び図11に示すように足載台4の各脚部挿入凹部4・1・4・2に脚部の脛脛部等の施療部位を載置し、エアー給排気装置を稼動させる事で通常の圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材4・8・4・8を稼動させる事で施療部位に振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0022】また、足載台4を座部2前方に突出させた状態で、図7及び図13に示すように足載台4の各脚部挿入凹部4・1・4・2におけるトンネル状のポケット部4・5・4・5に脚部の脛脛部等の施療部位を載置し、エアー給排気装置を稼動させる事で、空気袋4・3・・の膨縮動作に連動して上面開放側に施療部位が逃避する事なく被覆カバー4・4・4で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材4・8・4・8を稼動させる事で施療部位を逃避させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0023】更に足載台4を座部2前方に突出させた状態で、図8及び図12に示すように足載台4の各脚部挿入凹部4・1・4・2における袋状のポケット部4・5・4・5に各々脚部端の甲部や爪先部等の施療部位を挿入して、エアー給排気装置を稼動させる事で、空気袋4・3・・の膨縮動作に連動して上面開放側に施療部位が逃避す

る事なく被覆カバー44・44で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を稼動させる事で該施療部位を逃させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0024】更にまた、図3に示すように足載台4を座部2前方の就座面に突出させ、図9及び図12に示すように足載台4の各脚部挿入用凹部41・42における袋状のポケット部45・45に各々脚部端の甲部や爪先部等の施療部位を挿入して、エア-給気装置を稼動させる事で、空気袋43・43の膨脹動作に連動して上面開放側に施療部位が逃さずする事なく被覆カバー44・44で強制維持させながら該部位に充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材48・48を稼動させる事で該施療部位を逃させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で同様な状態で振動圧迫マッサージが行なえる。

【0025】

【発明の効果】よって、本発明のエアーマッサージ機は、椅子の座部前方に自在に設けられる足載台のW字状形成された左右の各脚部挿入凹部に、要すれば振動部材を各々内設し、各凹部内前方から後方間に亘る被覆カバーを各々重複すると共に、各被覆カバーの両端を連着したトンネル状ポケット部や、各被覆カバーの両端及び先端を連着した袋状ポケット部を形成して構成している為、W字状形成されてその脚部挿入凹部上面を解放した足載台を有する従来のエアーマッサージ機とは異なり、脚部の脛脛部・甲部・爪先部等の施療部位が上面開放側に逃さずして充分な圧迫マッサージを行なう事ができないという問題がなく、被覆カバーで強制維持せながら施療部位の広範囲を効率良く充分な圧迫マッサージが行なえ、且つこの状態で振動部材を稼動させる事で施療部位の広範囲を逃させる事なく振動マッサージが行なえ、これらを同時に稼動させる事で同様な状態で施療部位の広範囲を振動圧迫マッサージが行なえる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図2】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図3】本発明のエアーマッサージ機の一実施例を示す斜面図である。

【図4】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す断面図である。

【図5】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の一実施例を示す側面図である。

【図6】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の一実施例を示す側面図である。

【図7】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の一実施例を示す側面図である。

【図8】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の一実施例を示す側面図である。

【図9】本発明のエアーマッサージ機を使用した状態の一実施例を示す側面図である。

【図10】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図11】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図12】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【図13】本発明のエアーマッサージ機における足載台の一実施例を示す説明図である。

【符号の説明】

2 座部

30 足載台

4 足載台

41 脚部挿入用凹部

42 脚部挿入用凹部

43 空気袋

44 被覆カバー

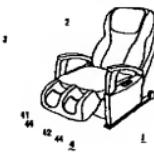
45 ポケット部

48 振動部材

【図1】



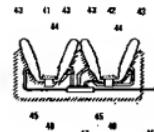
【図2】



【図3】



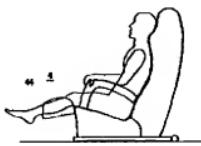
【図4】



【図5】



【図6】



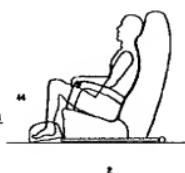
【図7】



【図8】



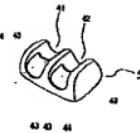
【図9】



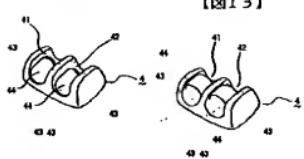
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

